

2023年度運営協議会（CS）アンケートまとめ

12月に井萩小学校学校運営協議会としてアンケート調査を実施しました。そのアンケート結果の簡単なまとめを既にCSだより報告しました。ここではより詳しい報告をします。

過去3回のアンケートでは自由記欄以外は全く同じ質問内容でした。アンケート質問は運営協議会活動内容を反映したもので、アンケートを通して運営協議会の活動を広く知ってもらうことを目指していました。今回はそうした段階から質問項目を一新し、子どもたちの様子、学校や地域との関係について保護者の皆さんがどのように感じ、考えていらっしゃるかを尋ねています。初めての試みとして、3年生以上の子どもたち対象のアンケートを同時に実施しました。アンケートの質問文は子ども向けに作り直していますが、保護者向け質問項目とほぼ平行する内容です。

アンケート回答の結果は、言うまでもなく井萩小学校の現状を正しく把握するための貴重な資料です。運営協議会の活動の中でそれを十分生かしていくつもりです。貴重な時間を割いて回答して下さいました保護者の皆さん、一生懸命アンケートに回答してくれた子どもたちに深く感謝しています。

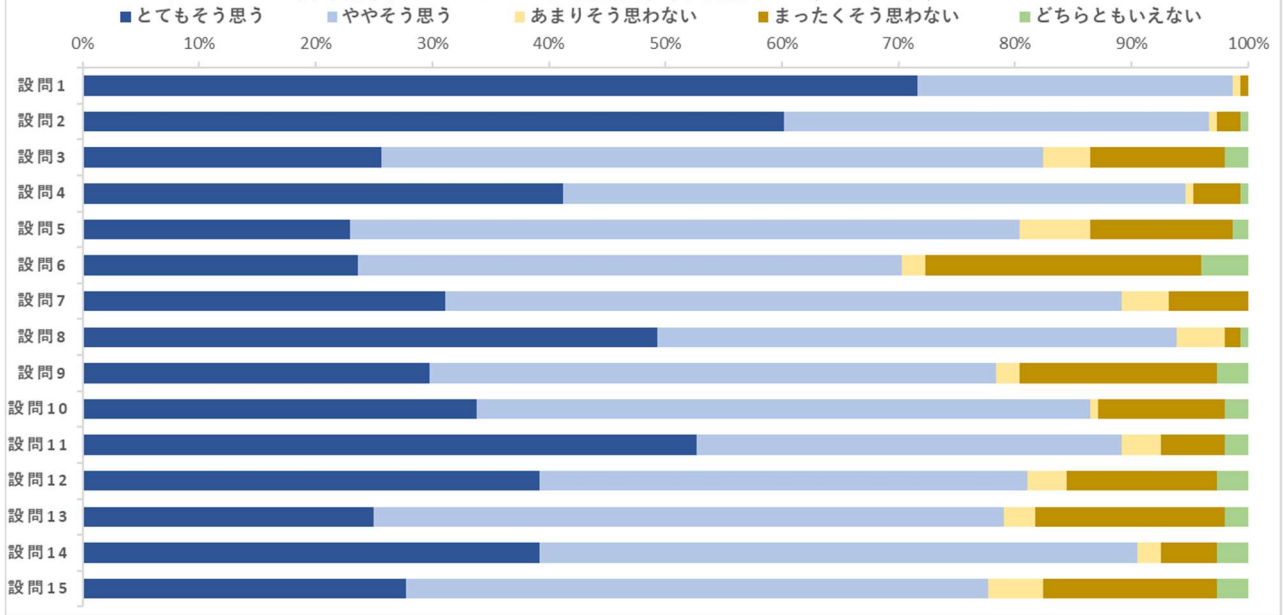
今回のアンケートの回収率は、保護者アンケート 39%（回答数/家庭数）、子どもアンケート 77%（回答数/児童数）でした。過去3回の保護者アンケートの回収率が一貫して70～80%だったことと比較して大きく下がってしまいました。運営協議会としてもアンケート依頼の方法や実施時期などを工夫する努力が必要と感じています。

保護者アンケート

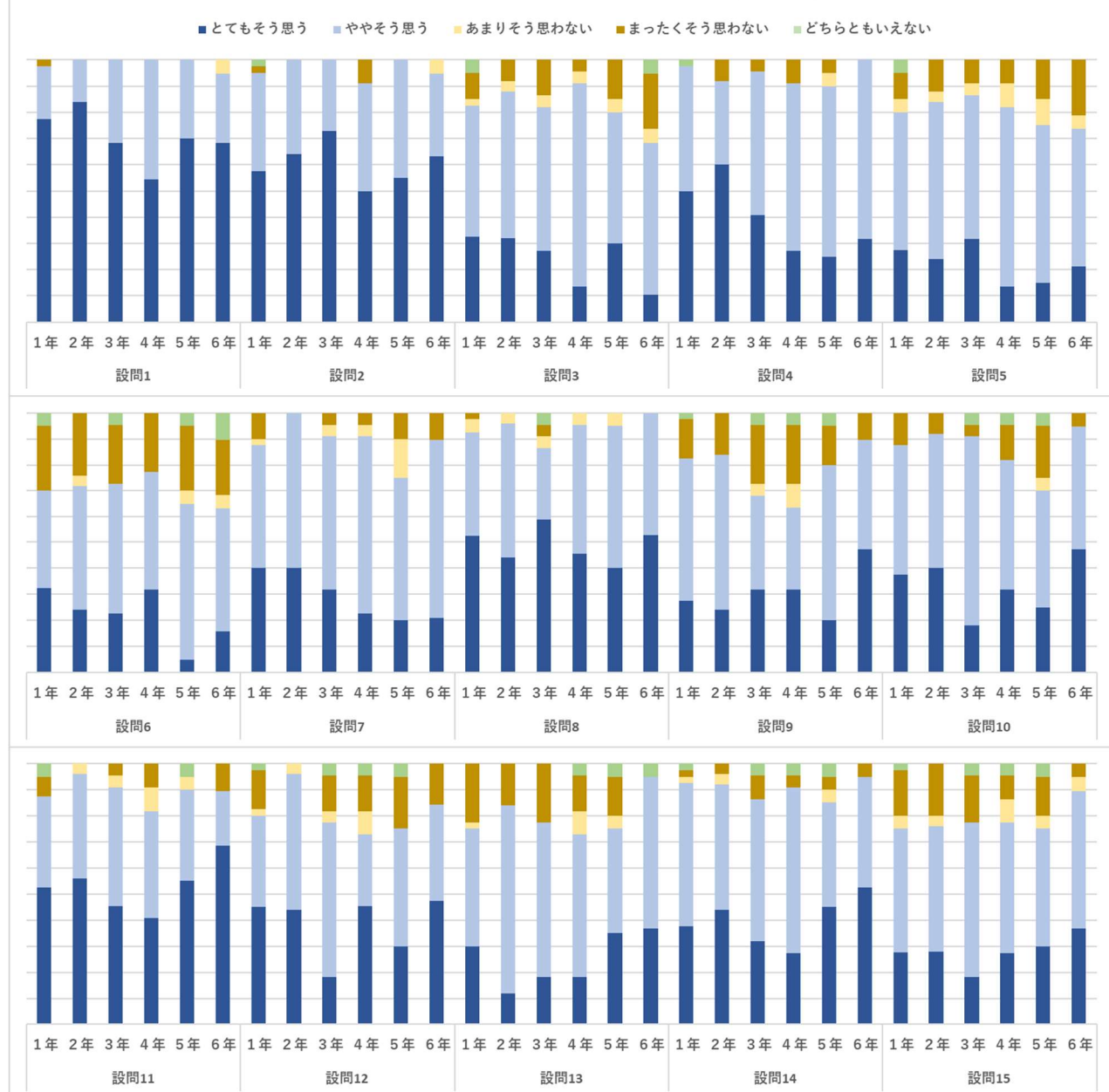
保護者アンケートの15個の設問は以下の通りでした。

- 設問1 学校や家庭、地域が各々の役割を果たしながら一体となって子どもを育てていくことが大切である
- 設問2 学校の教職員と保護者は、本音の意思疎通を通じて協調して子育てに取り組む姿勢が大切である
- 設問3 保護者会やPTAの集まりにはできるだけ参加したい
- 設問4 自分にできる範囲で、授業や学校の活動に協力したい
- 設問5 自分の子どもの友達あるいは地域の子どもを褒めたり、悪いことをしたら注意したりする
- 設問6 地域の中に信頼できる友達や相談できる人がいる
- 設問7 自分も地域の人や子どもたちのために力になりたい
- 設問8 井萩小学校は地域の学校として機能している
- 設問9 子どもは、学校の授業が分かりやすい、あるいは楽しいと感じている
- 設問10 子どもは、着実に基礎学力を身に付けている
- 設問11 子どもは、先生を信頼して学校生活を送っている
- 設問12 子どもは、毎日学校に行くのが楽しそうだ
- 設問13 子どもは、学ぶ意欲や自分の考えを表現する力が高まってきている、あるいはその方向で育ちつつある
- 設問14 子どもは、自分や友達の良さを認めたり、きまりを守って生活したりしている
- 設問15 子どもは、最後までやり通す力を身に付けてきている、あるいはその方向で育ちつつある

グラフ1:保護者アンケート選択回答割合（全学年）



グラフ2:保護者アンケート選択回答割合（学年別）



保護者アンケートの全学年集計結果はグラフ1にある通りです。設問1「学校・家庭・地域が一体となった子育てが大切」、設問2「教職員と保護者の協調した子育てが大切」、設問4「授業や学校の活動に協力したい」、設問7「地域や子どもたちの力になりたい」、設問8「地域の学校として機能している」が90%を超える高い肯定率（とてもそう思うとややそう思う）でした。設問6「地域に信頼できる友達や相談できる人がいる」と設問9「授業がわかりやすい、楽しい」の否定的回答（あまりそう思わないとまったくそう思わない）が他の項目より多くなっています。

グラフ2には保護者アンケート回答の学年別結果をまとめてあります。全般的に学年による差異が見られます。その差異は低学年、中学年、高学年で保護者の皆さんのご関心の変化と大体は理解できます。また、一部は学年・クラスの状態を反映しての結果とも思われます。

保護者アンケート自由記述欄のコメント

保護者アンケートでは、「(ア) 井萩小学校のさらに伸ばしたい良いところや改善すべき点」、「(イ) その他自由なテーマでご意見、ご希望」に対するコメントをお願いする自由記述欄に対して、(ア)には53、(イ)には37という多数のコメントを寄せいただきました。(ア)では「地域とのつながりが強い」、「環境学習」、「先生たちの子どもに寄りそう指導」といった肯定的コメントが多くありました。改善すべき点として挙げられた内容としては「体力向上の取り組み」、「先生との面談回数を増やす」といったことがありました。(イ)ではいくつかの懸念されることとして、「子ども間のトラブル」、「先生の子どもへの指導のやり方」、「学校への連絡の難しさ」などが指摘されていました。また、「保護者間の交流」の重要性を指摘されるコメントもありました。

繰り返しになりますが、運営協議会委員全員が保護者の皆さんから寄せられた全てのコメントを読んでおり、運営協議会の話し合いの中で生かされております。

子どもアンケート

設問1 おうちの人に困ったとき自分の気持ちを伝えたり、相談したりできていますか？

設問2 おうちの方はよく学校の集まりに来てくれますか？

設問3 おうちの方は授業を見てくれたり、学校のことを話し合ったりしますか？

設問4 おうちの方はよくほめてくれたり、自分や友達がまちがったことをしたときに注意してくれたりしますか？

設問5 おうちがいの人で、困ったことがあったときに相談できる人はいますか？

設問6 周りの大人の人に何かしてもらってうれしいことはありますか？

設問7 井萩小学校は楽しく大好きですか？

設問8 授業は分かったり、できたりするようになって楽しいですか？

設問9 授業でどの教科も自分の力がついてきたなと感じますか？

設問10 先生に何でも話したり、困ったとき相談したりできますか？

設問11 毎日学校に行くのが楽しいですか？

設問12 授業で進んで発言したり、友達と自分の考えを出し合いながら話し合ったりしますか？

設問13 自分や友達のよさを認め合いながら、きまりを守って生活をしていますか？

設問14 授業やいろいろな活動を最後までやり通すことができますか？

子どもアンケートの3年生から6年生全体の集計結果はグラフ3にまとめられています。大半の項目で75%を超える肯定的回答が多かったと言えます。学校目標に関わる設問13「良さを認め合いながら、きまりを守った生活」、設問14「最後までやり通す」については85%の肯定率でした。一方、否定的回答が目立ったのは、設問10の「先生に何でも相談できるか」、設問9の「授業で力がついてきたか」の肯定率はいずれも68%と他の項目より低かったです。

子どもの成長に応じて、設問5、設問6、設問10のように親以外の人との関りが増す傾向、設問8や設問9のように勉強に関する自信を付けていく様子、設問13や設問14のような子どもの成長といったことが見て取れます。また、設問11の「学校に行くのが楽しいか」で一定数の否定的回答があり、かつ学年差があるのが気になります。

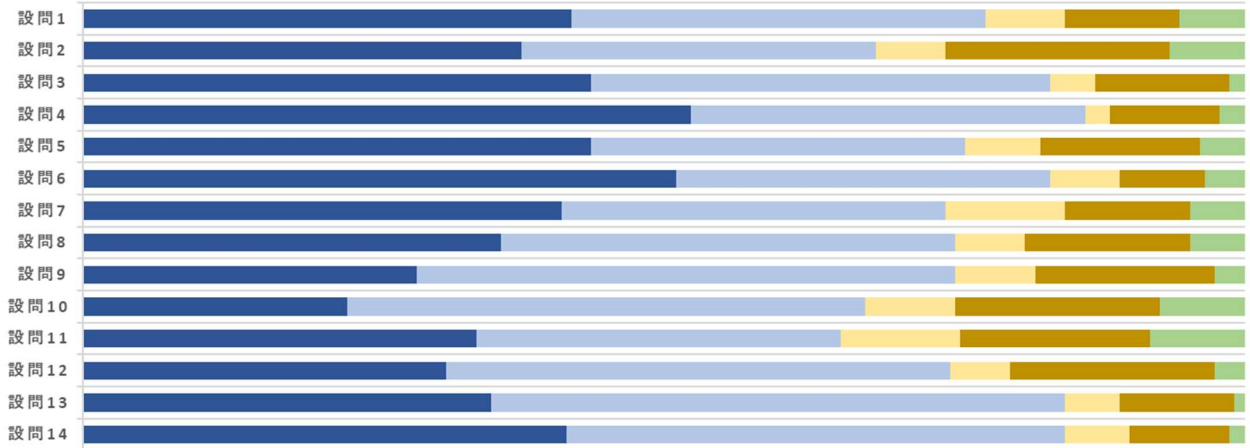
子どもアンケート自由記述欄のコメント

子どもアンケートにも「井萩小学校に『こうしたらもっといい学校になる』と思うこと」という自由記述欄を設けました。45名の子どもがコメントを記入してくれました。その中で具体的な要望として「動物を飼いたい」や「朝遊びや中休みの充実」というコメントがありました。また、「喧嘩がない」と「嫌なことを言わない」学校にしてほしいという切実なコメントがいくつかありました。高学年からは「自分たちで決められることを増やしてほしい」といった要望もありました。

グラフ3：子どもアンケート選択回答割合

(3年～6年生)

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■まったくそう思わない ■どちらともいえない



グラフ3：子どもアンケート選択回答割合 学年別

■とてもそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■まったくそう思わない ■どちらともいえない

